

令和5年度 第3回アイデア発表会

文責：岩崎（一新小），緒方（桜木小）

9月15日（金）のアイデア発表会では、熊本市立田迎南小学校の松村美甲子先生による「アイデアは子どもから！想像豊かで想像的なポートフォリオ」、八代市立植柳小学校の池田光希先生による「全員参加の国語の授業を目指して～読むことが苦手な子供への手立て～」の2つの発表がありました。

田迎南小学校 松村美甲子先生の実践

「大前提は、子どものすごさ！」その姿勢の大切さを改めて感じたご発表でした。日々の授業では、つつい教師として「何か教えてあげよう」「これを伝えなければいけない」と思ってしまいがちです。そこをグッと踏みとどまって、子どもたちが積み重ねた力を信じる。だから、「子どもに任せてみる」と、このような考え方を大切にされた実践でした。

● 実際の子どもたちのポートフォリオから・・・

○ イースター島には、なぜ森林がないのか

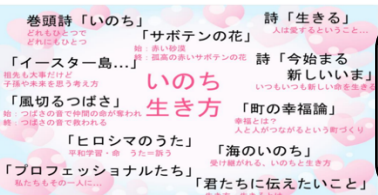
筆者調べを大切に。
書き手をしっかり知ること
とで受け止める気持ちが
大きくなる!!

○ 風切るつばさ

どこでまとめる時間をつくるか？
基本的に家庭学習で取り組む。
次時で工夫した振り返りを
共有して価値付けする。

大きなテーマを共有しておく。

東京書籍の6年生のテーマは、「いのち」「生き方」です。学年開きでしっかり共有しておくと思いがぶれず、年間を通して自分ごととしてきちんと考えることができます。



他教科でも、まとめることを
しっかり意識させることで
さらに学びが充実!

写真と題名だけ子どもたちに
送信し、どんなことをまとめる
か子どもから引き出す。

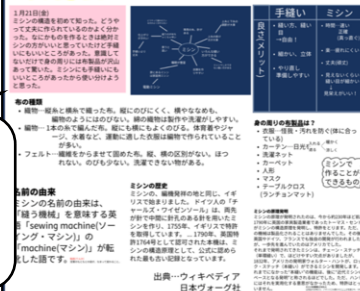
単元のまとめて入れるもの

- ・初めの感想・筆者について
- ・論の進め方
- ・受け取ったこと(変わったこと)

自分で学びをまとめる

単元の学習が終わった後に、横に
自分がどう考えたのか書き込み、
自分の変容について考える。

単元の学びを知り、家族の一員として役に立つためにエプロンを作ろう!



植柳小学校 池田光希先生の実践

「読むことが苦手な子どもであっても、顔を上げて授業に参加してほしい」という池田先生の思いを感じた実践発表でした。その手立てとして、3つ紹介します。

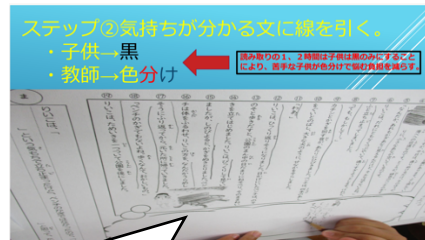
● 【数える】 (例) 物語の場面や説明文の構成について考える場面で・・・

物語文 「いくつかの場面で分かれていますか？」
説明文 「いくつかの事例が使われていますか？」

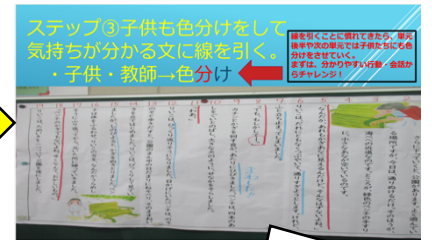
数えることで、ズレが出やすい。その
違いから「なんでそう分けるの?」と
話し合いを広げやすい。

● 【線を引く】 (例) 心情を読み取る場面で・・・

- ・読み取りの視点を改めて示す。
- 会話 ○ 行動(したこと) ○ 気持ち(心情表現) ○ 様子



ステップ① 黒色で線を引く。
→ 色分けの負担を減らすため。



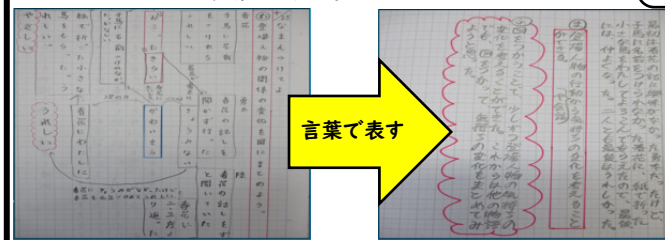
ステップ② 教師と一緒に色分け
することで視点を一緒に考える。

● 【図化する】 登場人物の関係の変化を読み取る場面で・・・

- ・ステップ① 最初と最後の場面から登場人物の気持ち分かる叙述を探す。それを図の最初と最後に書く。
- ・ステップ② 変化のきっかけになった文を探し、図の中に書き込む。
- ・ステップ③ それぞれの図を見て交流する時間をとる。
- ・ステップ④ 自分で書き上げた図をもとに、言葉で表す活動を入れる。

図化の導入はドラえもんなど
ですとつかみやすい。

色々な図を見ることで違いに
気付き、相互の学びが深まる。



言葉で表す

図を描くことで、物語の
全体像が分かり、文章を
書く際の手助けとなる!

◎ご参加された先生方の感想を紹介します。

貴重な実践を発表いただき感謝申し上げます。教育の個別最適化，全員参加に向けた学習への手立ては，今後の教育の必要不可欠な在り方だと考えています。私自身の学びとして，実践にいかしていきたいと思います。本当にありがとうございました。

お二人の先生方，ありがとうございました。松村先生の子どもに任せると言うことが印象に残りました。また，池田先生の発表では，子ども達を授業に参加させたいと言う熱意を感じました。

子供たちのポートフォリオには驚きました。子供の可能性と主体性を育てるという意味では，大変効果のある取組だと思えます。これを友達と共有することで，さらに深い読みへとつながるのならば素晴らしいです。お二人とも，子供達に読み深めたことを図化するという取組をされていました。図化することで通して言葉の力がどう高まっていくのか，大変興味深いです。今日はありがとうございました！

発表，大変ありがとうございました。まとめてポートフォリオを行うと言うのは，素晴らしいと思えました。そして，子供たちが意欲的に取り組んでいるのか，とてもよくわかりました。ICTの活用がとても成功しているんだろうと思います。また，図をかいて表現するというのがとても面白いと思えました。例えば，物語の図をかかせるのも良いなと思います。村から動いて外れまで行ってなど，地図の中に絵をかくことで，子供の理解を助けることにつながると思えます。私も，光村図書2年生たんぼぼの知恵で，どうしても理解ができなかった子供に，絵をかかせたことがありました。晴れた日には，わたげが開いて，雨の日にはしぼんでしまう。その意味がわからなかったのですが，絵をかいたことによって理解できた子供がいました。今日，お忙しい中，貴重な資料準備していただき，アップいただいたこと感謝いたします。

お二人の先生方が，日々の授業で目の前の子どもたちを大切にされていることがよくわかりました。ポートフォリオの実践は，子どもが作られるのではなく，学び手として自ら活動している様子が伺えました。また，図化については，ロイロノートなどの学習アプリと組み合わせてやってみるのも面白いと思えました。二学期の授業で，参考にさせていただきます！

改めて，松村先生，池田先生ご発表いただきありがとうございました。

略儀ながら，書面をもちまして発表のまとめとお礼のあいさつとさせていただきます。 県小国研 編集部